

# 生活単元学習 学習指導案

授業日時 令和〇年〇月〇日(水)  
3校時(10:50~11:30)  
対 象 小学部 〇組 名  
場 所 小学部 〇組教室  
授 業 者 T1  
T2  
T3

## 1 単元名

「みんなで楽しもう 〇組クリスマス会」(季節単元)

## 2 児童の実態

本学級は、〇年生 名、〇年生 名の計 名で構成されている。自分でスケジュールを確認したり、教員からの言葉かけを受けたりして、次への活動に移行することができる。児童たちは、教員や友達に対し、自分から声をかけて関わったり、遊びに誘ったりと、どの児童も学級の友達や教員を意識することができている。

これまでの学習活動や生活経験から、見通しをもち集団活動に落ち着いて参加ができ、また少しずつではあるが、役割意識を持てるようになってきている。

|                                                                                                                                                                                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A:自閉症 S-M社会生活能力検査 太田ステージ<br>提示されたスケジュールに沿って活動を行うことができる。圧刺激を受けたりやバランスボールに乗ったりすることを好み余暇を過ごすことができる。制作活動では、クレヨンで力強く描いたり、のりを塗ったりして作品を制作することができる。また、歌やダンスが好きで曲がかかると身体を左右に揺らして表現することができる。ゲーム活動では、的を目標けてボールを投げることができる。                           |
| B:ダウン症 S-M社会生活能力検査 太田ステージ<br>自分なりの手順やルール、興味の有無で活動への意欲が変わりやすいが、役割活動には意欲的に取り組めることができる。休み時間は、タブレットをしたり、友達と関わったりして休み時間を過ごすことができる。制作活動では、手指操作を苦手としているが、好きなキャラクターに色を塗ったり、立体作品ではのりをつけて画用紙を貼ったりすることができる。また、学級でゲームをする時は、係の仕事や教員の手伝いを積極的にすることができる。 |
| C:自閉症 S-M社会生活能力検査 太田ステージ<br>提示されたスケジュールに沿って活動を行うことができる。休み時間は、「タブレットを貸して下さい」や「遊びの部屋で遊びます」など口答で伝えることができるようになってきた。制作活動では、好きな人物や電車などを描いたり、絵の具で塗ったりすることができる。ゲーム活動では、視覚的に順番を提示すると自分の番まで待つことができる。自分のしたいことを優先してしまうため、ルールややり方を教員と確認しながら活動している。    |
| D:ダウン症 S-M社会生活能力検査 太田ステージ<br>提示されたスケジュールに沿って自ら活動に取り組むことができる。発語が不明瞭である。ジェスチャーやコミュニケーションカードを使用して要求などを伝えることができる。制作活動では、事前にはさみで切る箇所に線を引いておくと、その線に沿って切ることができる。身体を動かすことが好きで、的当てゲームのルールを理解して活動したり、係の仕事や教員の手伝いを積極的にしたりすることができる。                  |
| E:自閉症 S-M社会生活能力検査 太田ステージ<br>言語での表出は少ないが、休み時間や欲しい物があるときはカードを使用して伝えることができる。提示されたスケジュールを確認しながら活動に取り組むことができる。休み時間は、プレイエリアでブロックや絵本を並べて遊ぶことが多い。制作活動では、クレヨンで何度も描いたり、のりを塗って貼ったりすることができる。的当てゲームでは、物を投げて的に当てるという活動を理解して参加することができる。                 |
| F:自閉症 S-M社会生活能力検査 太田ステージ<br>スケジュールを自分で確認しながら学校生活を送ることができる。急な予定変更には苦手な様子が見られるが、事前に伝えたりスケジュールを確認すると落ち着いて活動に参加することができる。クラスのために、係活動や役割を意欲的に取り組むことができる。制作活動は苦手な様子が見られたが、少しずつ自ら作りたい物を教員に伝えることができるようになってきた。ゲーム活動では、係の活動の手伝いを積極的にすることができる。       |

### 3 単元設定の理由

#### (1) 単元テーマについて

小学部では、七夕集会やハロウィンパーティー、クリスマス会、節分集会などの季節の行事を学部全体の合同学習で行っており、レクリエーションのゲーム活動を楽しむ様子が見られている。本単元で取り上げる「クリスマス会」は、児童にとって馴染みの行事で、見通しや意欲をもって取り組める。

本単元では、○組のクリスマス会に向けて全員でゲーム活動を制作をし、クリスマス会を楽しむことを目標とした。児童たちが学校生活を楽しむことができる学級づくりを進める中で、児童の人間関係を築く力を大切に育てていきたいと考えている。

#### (2) 学習活動の設定について

本学級の児童たちは、学習活動に対して意欲的で期待感を持って取り組むことができる。発達段階や学習経験などの違いはあるが、一人ひとり、自分のスケジュールを確認し、自分なりの方法で友達や教員と関わろうとすることができる。児童たちは、人との関わりも好む傾向にあり教員を遊びに誘ったり、友達が遊んでいる活動に加わったりしようとする。

活動内容では、クリスマス会に向けて、自分たちで制作した道具を使ったゲーム活動に取り組み、楽しんで欲しいと考えている。壁面づくりをしたり、サンタとトナカイのゲームを制作したりしながら、クリスマス会に向けて環境面から児童が自分たちで準備する経験を積み重ねられるようにしていきたい。

「クッキートス」では、クッキーをサンタとトナカイに向かって投げ入れる活動を取り入れた。児童たちは、的当てゲームを意欲的に取り組むことができるため、丸く切った段ボールを平らなクッキーに見立て、投げる活動を設定した。「バンクボウリング」は、ボウリングのボールが壁に当たり、坂で戻ってピンを倒すというゲームである。ボールの転がし方で、ボールの戻ってくる動き方、ピンがどのように倒れるかなどを楽しむ活動である。「コロコロ雪だるま」は、友達と協力し、傾きや転がし方を考えながらボールをゴールまで転がす活動である。

ゲーム活動では、何度もチャレンジしながらゲームのやり方を工夫したり、改善したりする。特に制作活動をしなが、教員と一緒に話し合い、道具制作を行っていく。楽しくゲーム活動を行い、自分たちでも必要な物を制作していきながら「上手くできた」「次はこうしたら上手いくかな」など、試行錯誤する経験を積めるような教材や活動を設定していきたい。

#### (3) 単元計画について

単元の導入として児童が学習活動に見通しや期待感をもつことができるように、「クリスマス」についてイラストや写真で楽しいことについて話し合ったり、クリスマスについての「〇×ゲーム」を行ったりする。

次にゲーム活動を展開する時には、過去の小学部の「クリスマス会」の写真を見てイメージをしたり、実際にゲーム活動を体験をしたりすることで、楽しい雰囲気の中で学習活動を展開していく。そして、「こういうの作りたい」、「こうしたい」などの気持ちを引き出しながら、自分たちで作りたい物を教員と一緒に制作をしていきたい。ゲーム道具の制作時は友達の様子や完成品を意識できるようにしていきたい。本単元では、ゲーム活動を体験し、児童たちが「楽しそう」「やってみたい」「つくってみたい」と思えるようなクリスマスゲームを行い、制作したいゲーム活動を選択する。○組のクリスマス会当日には、自分たちで作った壁面やかざりや、道具を使ってクリスマス会を行い、友達や教員を誘い、一緒にゲーム活動を楽しみながら、友達意識も高められるようにしたい。

#### (4) 授業の展開

本学級の児童たちは、ゲーム活動と制作活動には意欲的に取り組み、自分で制作したい物を考えて作ることができる児童もいる。本時では、クリスマス会に向けて、自分たちで制作した3つのクリスマスゲームを実際に取り組む。クッキートスは、的に入るかどうか、バンクボウリングで、ピンが倒れるかどうかを確認したり、ゲーム活動自体を楽しんだりし

たい。そして、友達や教員の顔写真を手がかりにして、友達や教員を誘って一緒にゲーム活動を行えるようにして、楽しさを共有したり、喜びを共感したりすることができるようにしたい。振り返りでは、自分たちのゲーム活動の様子が映像等で見ながら、満足感や達成感など、自己評価を高めつつ、自分たちが制作したゲーム活動が上手くできた所や難しかったことなど、「次はこうしてみよう」など児童たちの、「次はこうしたい」「もう一度やってみたい」など、次への活動につながるようにしていきたい。

#### 4 単元の目標

- (1) クリスマス会でのゲーム活動を選んだり、〇組のクリスマス会を楽しんだりすることができる。  
「学びに向かう力、人間性等」
- (2) 必要な支援を受けながら、ゲーム活動で使う道具を作ったり、準備したゲーム活動で遊んだりすることができる。  
「知識及び技能」
- (3) ゲーム活動や道具づくりで、自分なりに工夫したり、教員や友達と協力したりすることができる。  
「思考力、判断力、表現力等」
- (4) 友達や教員と一緒にゲーム活動や道具づくりに意欲的に取り組むことができる。  
「学びに向かう力、人間性等」

#### 5 単元の評価規準

- (1) クリスマス会でのゲーム活動を選んだり、〇組クリスマス会を楽しんだりする。 「主体的に学習に取り組む態度」
- (2) 必要な支援を受けながら、ゲーム活動で使う道具を作ったり、準備したゲーム活動で遊んだりする。  
「思考・判断・表現」
- (3) ゲーム活動や道具づくりで、自分なりに工夫したり、教員や友達と協力したりする。 「思考・判断・表現」
- (4) 友達や教員と一緒にゲーム活動や道具づくりに意欲的に取り組む。 「主体的に学習に取り組む態度」

#### 6 単元計画

「みんなで楽しもう 〇組クリスマス会」……………9時間  
 クリスマスゲームをやってみよう…………… 1時間  
 ゲームの道具をつくろう…………… 3時間  
 みんなでつくった クリスマスゲームをやってみよう…… 4時間(本時4/4)  
 〇組のクリスマス会をしよう…………… 1時間

#### 7 本時の目標

- (1) 全体の目標
  - ・支援を受けながらクリスマスゲームのルールや順番を理解する。 「知識・技能」
  - ・順番やルールを守ってゲーム活動をしたり、友達や教員を誘って一緒に準備や片付け活動をしたりする。 「思考・判断・表現」
  - ・やってみたいゲーム活動を選択する。 「主体的に学習に取り組む態度」
  - ・友達や教員を誘って一緒にゲーム活動を楽しむ。 「主体的に学習に取り組む態度」

##### (2) 個人の目標

| 児童名 | 本時の学習目標                                                                    | 教科との関連                 |
|-----|----------------------------------------------------------------------------|------------------------|
| A   | ・支援を受けて、取り組みたいゲーム活動を選択することができる。<br>・友達や教員をゲーム活動に誘い一緒に遊ぼうとする。               | 自立活動6-(1)<br>生活1段階エ(ア) |
| B   | ・提示されたクリスマスゲームのルールや順番を理解して取り組むことができる。<br>・ゲーム活動の楽しさに気づき、友達や教員を誘い一緒に遊ぼうとする。 | 生活2段階ケ(ア)<br>生活2段階エ(ア) |
| C   | ・提示されたクリスマスゲームのルールや順番を理解して取り組むことができる。<br>・ゲーム活動の楽しさに気づき、友達や教員を誘い一緒に遊ぼうとする。 | 生活2段階ケ(ア)<br>生活1段階エ(ア) |
| D   | ・順番やルールを守り、友達や教員を誘いに行くことができる。<br>・友達や教員をゲーム活動に誘い一緒に遊ぼうとする。                 | 自立活動2-(3)<br>生活2段階エ(ア) |
| E   | ・支援を受けて、取り組みたいゲーム活動を選択することができる。<br>・ゲーム活動の楽しさに気づき、友達や教員を誘い一緒に遊ぼうとする。       | 自立活動6-(1)<br>生活1段階エ(ア) |
| F   | ・友達を誘ってゲーム活動の準備や片付けをすることができる。<br>・ゲーム活動で友達を誘ったり、協力したり遊ぶ。                   | 生活2段階カ(ア)<br>生活3段階エ(イ) |

## 8 本時の展開

| 時間  | 学習活動                                                                                                                                                          | 指導・支援上の留意点                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 評価の観点                                                                                                | 支援の評価                                                                                                                                                                |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1分  | 1.挨拶をする。                                                                                                                                                      | ・当番の児童に号令をかけるよう促す。他の児童に姿勢を正したり、当番児童に注目したりできるよう言葉かけ等で促す。                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                      |                                                                                                                                                                      |
| 7分  | 2.本時の活動内容を知る。                                                                                                                                                 | ・本時の流れが分かりやすいようにホワイトボードに活動内容を提示する。<br>・前回の活動の様子をテレビ画面に映し、振り返りをする。<br>・本時のめあてを文字やイラストで提示をする。                                                                                                                                                                                                                                               | ・教員やスケジュールに注目している。<br>・前時を振り返り、活動を思い出している。<br>・制作する実物に注目する。                                          | ・前回の活動内容が分かるように提示できたか。<br>・本時間のめあてについて提示することができたか。                                                                                                                   |
| 26分 | 3.制作した3種類のゲーム活動をする。<br>(1)本時のゲームやルールを説明をする。<br><br>(2)ゲームを行う順番を発表する。<br><br>(3)ゲーム活動を選択する。<br><br>(4)ゲーム活動をする。<br>(2回行う)<br>①クッキートス<br>②バンクボウリング<br>③コロコロ雪だるま | ・ゲーム活動のルールをテレビ画面に映しながら、スライドで説明をする。T2、T3は、テレビ画面に注目するように促す。<br><br>・ゲームを行う順番を発表し、見通しがもてるように、顔写真を提示してホワイトボードに貼る。<br><br>・どのゲーム活動が行いたいのか、写真や実物を提示して選択するように促す。T2、T3は、児童の見守りをする。<br><br>・1回目は、やってみたいゲーム活動を選択する。的に入れたり、ピンが倒れたりした時は一緒に喜んだり、称賛したりする。<br>・2回目は、友達や教員を誘い、一緒にゲーム活動ができるように促したり、身体的支援をしたりする。<br><br>・T3:ゲーム活動をしている様子をタブレットで写真や動画で撮影をする。 | ・ゲームやルールについて説明を聞く。<br><br>・ゲーム行う順番を理解する。<br><br>・教員と一緒にゲーム活動をする。(A、C、D、E)<br>・友だちを意識してゲーム活動をする。(B、F) | ・ゲームのルールを理解できるように説明ができたか。<br><br>・児童が見通しをもてるよう活動の参加を促せたか。<br><br>・児童が活動の理解できるように動画を提示できたか。<br><br>・児童が友達や教員を誘うように促すことができたか。<br>・児童の活動に対してポジティブな言葉かけや称賛、フィードバックができたか。 |
| 5分  | 4. 本時の学習を振り返る。                                                                                                                                                | ・本時のめあてについて確認をし、本時の活動を動画や写真をテレビ画面に映しながら振り返りをする。ゲーム活動をしている様子や楽しんでいる姿を称賛をする。<br>・次は、「こうしたい」「もっとこうしたい」「次はこれがしたい」などの発表が引き出せるよう発問や写真提示をする。                                                                                                                                                                                                     | ・本時の振り返りについて動画(写真)に注目している。<br>・本時のめあてを思い出している。<br>・本時を振り返り言葉で伝えたり、カードを選択したりする。                       | ・児童が振り返りの動画(写真)に注目できるような言葉かけができたか。<br>・児童たちがめあてを意識している姿を言葉かけて伝えられたか。                                                                                                 |
| 1分  | 5.挨拶をする。<br>※挨拶の後、道具等の片付けをする。                                                                                                                                 | ・当番の児童に号令をかけるよう促す。他の児童に姿勢を正したり、当番児童に注目したりできるよう言葉かけ等で促す。                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                                                                                                      |                                                                                                                                                                      |